

議員活動資料

■2008/12/22(月)

村山橋第2期線開通式に参列

千曲川に架かる現在の村山橋は、大正15年に永久橋として架設されました。橋の長さは凡そ814m、車道幅員5.5m、鉄道3.8mで赤褐色の鉄橋（現在は濃い黄緑にペンキ塗替え）は、私たちの誇りの橋でしたが、車社会において1車線の相互通行では、渋滞が常習的であり、鉄道と共用であることもあり、長野市側の鉄橋脇にある踏切は大変危険な踏切となりました。亦、千曲川の河床が相対的にあがってしまったのか、降雨量が多いのか大雨が降ると、橋桁に川面が触れるぐらいになって危険であることから、鉄道の運行が中止されることも近年は見受けられるようになりました。酷使に酷使をしたために橋自身の老朽化が指摘されるようになりました。

そこで、現在の村山橋の上流に4車線の道路と鉄道橋の建設が平成10年より架け替え工事が進められ、本日（12月22日）に新村山橋の長野から須坂に向けての車道部分が供用開始されるにあたり開通式がとり行なわれ参列しました。新橋は橋長837.8mです。

参列者は長野県知事、衆・参議院の国会議員、県議会議員、長野市、須高三市町村の首長、議会議員、国土建設省関係者等凡そ150名が参列し、橋の安全を祈願しました。

北信地方の歴史がまた一枚書き換えられたと言える。子々孫々はこの新村山橋に郷里を屹度感じてくれるであろう。